

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (ネオレストEX(CES9922Y)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル\* 一覧をご確認ください。

\*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(特 1) タイプ 1	(特 2) タイプ 2	正 規 品	(特 1) タイプ 1	(特 2) タイプ 2
(特 3) タイプ 3	(特 4) タイプ 4	(特 5) タイプ 5	(特 3) タイプ 3	(特 4) タイプ 4	(特 5) タイプ 5

3. 連立トイレ対応方法 ※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 <<本体側の設定方法>> ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**手順 1**

本体操作部の を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

**本体表示部**

**全点灯2秒間**

運転・タイマー・節電・便座・脱臭→緑点灯  
おまかせ節電・水圧→赤点灯      センサー→青点灯

≪下図は例です≫

ランプが点滅したら最初からやり直してください。

**本体操作部**

**手順 2**

運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、  
 すぐに を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

**本体操作部**

**手順 3**

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 を押したまま、 を押す。

を押す度に標準→特1→特2…特5→標準

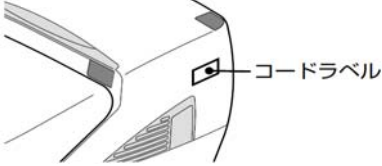
と設定が切り替わります。

**本体表示部**      ●…緑点灯    ×…消灯

表示部 \ コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5
便座	●	●	●	●	×	×
タイマー節電	●	●	×	×	●	●
運転	●	×	●	×	●	×

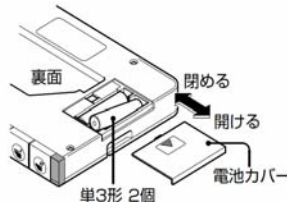
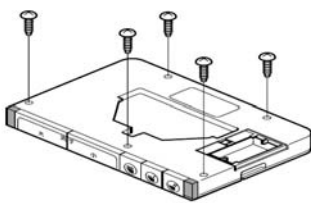
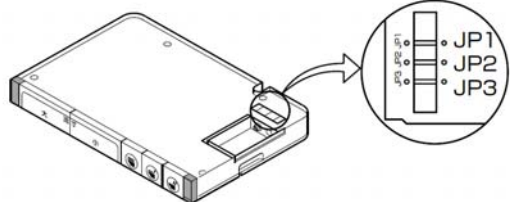
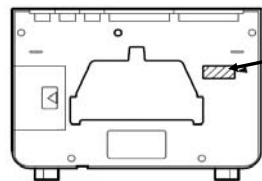
**本体操作部**

注意!!: 特コードを設定する場合は、特5までしか利用できませんので、特1～特5で設定を行ってください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。         </div>	<div style="text-align: center;">             運転  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">入/切</span> </div> から手を離れた時点で設定したコードになる。
5		ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

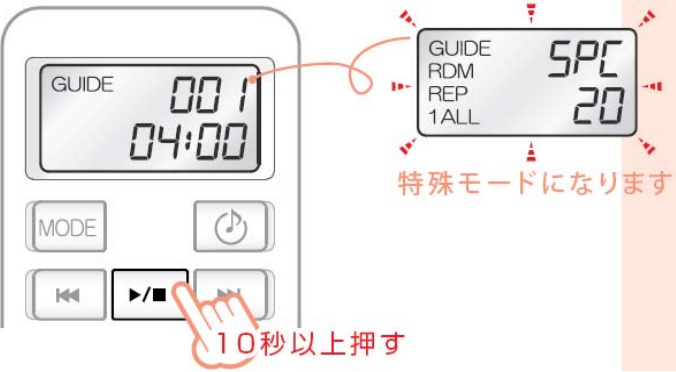








## <<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																												
1	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。            ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。            ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。            (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: #e91e63; font-weight: bold;">ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																												
2	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> </div> </div>																												
3	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p style="color: #e91e63; font-weight: bold;">ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。            ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">コード</th> <th style="font-size: small;">標準</th> <th style="font-size: small;">特1</th> <th style="font-size: small;">特2</th> <th style="font-size: small;">特3</th> <th style="font-size: small;">特4</th> <th style="font-size: small;">特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: x-small;">ジャンパ線 JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> </div>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																							
ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×																							
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																							
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																							
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンをリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																												
5	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <p>例      リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> </div> </div>																												

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

## &lt;&lt;サウンドリモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(サウンドリモコン側)	
1	 <p>10秒以上押す</p> <p>特殊モードになります</p>	<p> スイッチを10秒以上押す。</p> <p>⇒約10秒後にリモコン表示部が全点滅します。(特殊モードになります。)</p> <p>(全点滅したら  スイッチから手を離してください)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>※停止中に表示部が消灯しているときは、   スイッチを押し、スタンバイ状態にして          操作してください。          ※再生中は設定の変更はできません。再生を</p> </div>
2	 <p>スイッチを押すごとに、特1(01)～特9(09)に切り替わります。(表示が『00』のときは、標準設定になります。)</p>	<p>表示部全点滅中(特殊モード中)に、  スイッチを押し、特1～特9に設定する。</p> <p>※リモコン側の設定が特1～特5までとなるため、その範囲内での設定を行ってください。</p>
3	 <p>設定完了!</p>	<p>もう一度  スイッチを押す          ⇒設定完了です!!</p>